



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社
コード番号 4829 URL <http://www.nihon-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝

TEL 03-5774-5730

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 <アナリスト・機関投資家向け>

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年5月期第1四半期 | 631 | 13.2 | 69 | 61.6 | 72 | 66.8 | 40 | 237.4 |
| 23年5月期第1四半期 | 557 | △2.5 | 43 | △30.1 | 43 | △35.5 | 12 | △59.0 |

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 42百万円 (231.7%) 23年5月期第1四半期 12百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年5月期第1四半期 | 107.84 | — |
| 23年5月期第1四半期 | 31.97 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年5月期第1四半期 | 3,181 | 2,889 | 90.7 | 7,656.73 |
| 23年5月期 | 3,239 | 2,910 | 89.8 | 7,711.90 |

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 2,886百万円 23年5月期 2,907百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年5月期 | — | 0.00 | — | 130.00 | 130.00 |
| 24年5月期 | — | — | — | — | — |
| 24年5月期(予想) | — | 0.00 | — | 130.00 | 130.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|------|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,270 | 12.7 | 80 | △21.5 | 100 | △8.6 | 50 | 7.8 | 132.63 |
| 通期 | 2,830 | 19.4 | 280 | 4.9 | 300 | 6.0 | 170 | 0.6 | 450.93 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 24年5月期1Q | 377,000 株 | 23年5月期 | 377,000 株 |
| 24年5月期1Q | — 株 | 23年5月期 | — 株 |
| 24年5月期1Q | 377,000 株 | 23年5月期1Q | 377,000 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成23年10月3日(月)に決算説明会(アナリスト・機関投資家向け)を開催する予定です。また、当日使用する決算説明会資料は、同日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、携帯電話の契約数が、平成23年8月末で1億2,244万台※（前年同月末比6.7%増）まで拡大しており、そのうち第三世代携帯電話（3G）の契約数は1億2,152万台※（携帯電話加入台数の99.2%）と、高速・高機能な情報インフラが普及していることが伺えます。

※「社団法人電気通信事業者協会」発表

また、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォン（高機能携帯電話）の普及が本格化してきており、同環境は大きく変化していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6億31百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は69百万円（同61.6%増）、経常利益は72百万円（同66.8%増）、四半期純利益は40百万円（同237.4%増）となりました。

（ご参考）四半期連結実績推移

| | 平成23年5月期 第1四半期 | 平成23年5月期 第2四半期 | 平成23年5月期 第3四半期 | 平成23年5月期 第4四半期 | 平成24年5月期 第1四半期 |
|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上高合計（千円） | 557,278 | 569,471 | 632,489 | 611,586 | 631,112 |
| 売上総利益（千円） | 324,943 | 332,893 | 366,111 | 350,294 | 359,735 |
| 営業利益（千円） | 43,107 | 58,846 | 92,137 | 72,806 | 69,668 |
| 経常利益（千円） | 43,529 | 65,839 | 101,859 | 71,798 | 72,629 |

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツサービス事業>

コンテンツサービス事業におきましては、配信するコンテンツを自社制作することで、「提供コンテンツの権利を自社で保有」する当社独自のビジネスモデルをベースに、従来型携帯電話向け公式サイト「選択と集中」を実施し、有料会員数の新規獲得に努めてまいりました。また、新たな成長市場として期待されるスマートフォン市場の拡大を見据え、対応を強化してまいりました。特に、公式サイトスマートフォン対応については、課金サイトの制作・会員の引継ぎ対応等、携帯通信キャリアの施策に合わせた準備を積極的に進めてまいりました。その他、スマートフォン向けアプリについても、グローバル市場への展開を視野に、順次対応してまいりました。

海外では、中国において、2G、2.5G向けゲームコンテンツを配信しつつ、3Gの拡大を見据え、事業ドメインを電子コミックの配信サービスと位置付け、中国の作家や出版業界と連携しながら、携帯電話向け電子コミックの配信を行ってまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は3億9百万円、セグメント利益は1億20百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業におきましては、企業における「携帯電話を活用したプロモーション」をはじめ、「モバイルサイト構築」「運用業務」「ユーザーサポート業務」「デバッグ業務」「サーバ保守管理業務」等のサービス提供を行ってまいりました。また、スマートフォンを活用したビジネス展開の支援ニーズが高まっており、受注に向けた営業強化に努めてまいりました。

その他、携帯電話販売代理店向けにコンテンツ販売を成功報酬で行う「店頭アフィリエイト」を中心に、携帯電話販売代理店との協業を強化し、来店顧客の囲い込み支援を行ってまいりました。

海外では、中国において、企業向けに従来型携帯電話やスマートフォンを活用したビジネス展開の営業を強化してまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は3億21百万円、セグメント利益は83百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して57百万円減少し31億81百万円となりました。流動資産は、主に法人税等の支払に伴う預現金の減少により前連結会計年度末と比較して52百万円減少し27億62百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の減少により前連結会計年度末と比較して5百万円減少し4億19百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等の減少により前連結会計年度末と比較して、36百万円減少し2億91百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上がありました。また、剰余金の配当等があり、前連結会計年度末と比較して20百万円減少し28億89百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月期の連結業績予想につきましては、平成23年7月8日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,462,497 | 2,384,801 |
| 受取手形及び売掛金 | 299,144 | 329,065 |
| 商品 | 1,157 | 1,658 |
| 仕掛品 | 2,060 | 2,800 |
| 貯蔵品 | 135 | 618 |
| その他 | 50,747 | 44,606 |
| 貸倒引当金 | △1,000 | △1,000 |
| 流動資産合計 | 2,814,741 | 2,762,551 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 19,130 | 22,657 |
| 土地 | 12,400 | 12,400 |
| その他（純額） | 21,194 | 20,127 |
| 有形固定資産合計 | 52,724 | 55,184 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 76,114 | 80,647 |
| 無形固定資産合計 | 76,114 | 80,647 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 220,254 | 187,424 |
| その他 | 96,788 | 116,630 |
| 貸倒引当金 | △21,398 | △20,798 |
| 投資その他の資産合計 | 295,644 | 283,255 |
| 固定資産合計 | 424,484 | 419,087 |
| 資産合計 | 3,239,225 | 3,181,639 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 101,124 | 119,259 |
| 未払法人税等 | 89,457 | 36,383 |
| 賞与引当金 | 5,140 | 10,677 |
| 役員賞与引当金 | 10,800 | 2,875 |
| その他 | 113,924 | 115,556 |
| 流動負債合計 | 320,446 | 284,750 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 8,086 | 7,040 |
| 固定負債合計 | 8,086 | 7,040 |
| 負債合計 | 328,533 | 291,790 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 595,990 | 595,990 |
| 資本剰余金 | 473,942 | 473,942 |
| 利益剰余金 | 1,831,861 | 1,808,773 |
| 株主資本合計 | 2,901,794 | 2,878,706 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,821 | 10,442 |
| 為替換算調整勘定 | △6,229 | △2,562 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,592 | 7,880 |
| 新株予約権 | 2,134 | 2,134 |
| 少数株主持分 | 1,170 | 1,127 |
| 純資産合計 | 2,910,691 | 2,889,848 |
| 負債純資産合計 | 3,239,225 | 3,181,639 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 557,278 | 631,112 |
| 売上原価 | 232,335 | 271,376 |
| 売上総利益 | 324,943 | 359,735 |
| 販売費及び一般管理費 | 281,835 | 290,067 |
| 営業利益 | 43,107 | 69,668 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,211 | 1,898 |
| 受取配当金 | 594 | 1,858 |
| 受取賃貸料 | 1,158 | 390 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 600 |
| 持分法による投資利益 | — | 1,300 |
| その他 | 86 | 750 |
| 営業外収益合計 | 4,051 | 6,797 |
| 営業外費用 | | |
| 持分法による投資損失 | 3,349 | — |
| 為替差損 | — | 3,714 |
| その他 | 279 | 122 |
| 営業外費用合計 | 3,628 | 3,836 |
| 経常利益 | 43,529 | 72,629 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 900 | — |
| 投資有価証券有償減資払戻差益 | — | 4,400 |
| 特別利益 | 900 | 4,400 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,501 | 56 |
| 減損損失 | 502 | — |
| 災害義援金 | — | 31 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 2,733 | — |
| 特別損失合計 | 4,737 | 87 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 39,692 | 76,941 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 28,238 | 36,332 |
| 法人税等調整額 | △620 | △1 |
| 法人税等合計 | 27,618 | 36,330 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,074 | 40,611 |
| 少数株主利益 | 23 | △43 |
| 四半期純利益 | 12,051 | 40,654 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,074 | 40,611 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,292 | △1,378 |
| 為替換算調整勘定 | △4,432 | 3,666 |
| その他の包括利益合計 | 859 | 2,288 |
| 四半期包括利益 | 12,934 | 42,899 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 12,911 | 42,943 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 23 | △43 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-------------------|-------------|-----------|---------|
| | コンテンツサービス事業 | ソリューション事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 281,636 | 275,642 | 557,278 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 2,349 | 2,349 |
| 計 | 281,636 | 277,992 | 559,628 |
| セグメント利益 | 188,913 | 136,029 | 324,943 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) | 合計 (注) |
|-----------------------|-------------|-----------|---------|------------|-----------|
| | コンテンツサービス事業 | ソリューション事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 309,769 | 321,343 | 631,112 | — | 631,112 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 6,758 | 6,758 | △6,758 | — |
| 計 | 309,769 | 328,101 | 637,871 | △6,758 | 631,112 |
| セグメント利益 | 120,008 | 83,246 | 203,255 | △133,587 | 69,668 |

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△133,587千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間より当社が行う経営管理上のセグメント業績評価基準を変更したことに伴い、各事業セグメントの測定方法を変更しております。また、従来の方法によった場合に比べて、コンテンツサービス事業85,804千円、ソリューション事業70,675千円の各セグメント利益がそれぞれ減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。